

## 仙台塩釜港、石巻港、松島港の統合一体化について

### 《市長コメント》

仙台塩釜港と石巻港、松島港の統合一体化に向けて、石巻市としては、官民一体となって要望活動を展開していたところです。港湾管理者である宮城県においては、国土交通省と協議を進めていただいた結果、10月12日に閣議決定され、10月17日には国土交通大臣の同意とともに、港湾法施行令一部の改正に関する公布・施行がなされるとお聞きしており、仙台塩釜港、石巻港、松島港、3港が一体となった「国際拠点港湾仙台塩釜港」が実現することとなりました。

統合後は、東北唯一の国際拠点港湾の一港として各港が持つ機能を強化し、石巻港につきましては、東北地方における紙・パルプ、木材、飼料の生産、供給拠点として、さらなる大型バルク貨物の集積や企業の誘致に努めるとともに、国際バルク戦略港湾である釧路港、鹿島港との連携港として、東北地方の飼料の生産、供給基地としてその機能を強化していきたいと考えております。

また、石巻港は、仙台湾における大型客船の寄港地としての機能も担う事になります。本年も、9月末には大型客船「にっぽん丸」と「ぱしふいっくびいなす」が寄港しましたが、石巻港の復興並びに石巻地域、松島地域、ひいては宮城・東北の観光復興のシンボルとして、引き続き客船の寄港をアピールしてまいりたいと考えております。

東北の産業と経済を力強くけん引する中核的国際拠点港湾が新たに誕生することにより、本市といたしましても、震災により甚大な被害を受けた石巻港が、単に震災前の復旧にとどまらず、更なる発展を実現できるよう、関係する市町と連携を図りながら強力に港湾振興を推進してまいりたいと考えております。